



特定非営利活動法人  
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
2015年度 第11期 通常総会資料

◆FTCJ事務局◆

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948      FAX : 03-6323-6504  
Email : info@ftcj.com      URL : <http://www.ftcj.com>

## 2015年度特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン通常総会のご案内

### ■日時：6月21日(日)

12:30~13:00 受付

13:00~14:15 平成27年度総会

14:15~14:30 休憩

14:30~16:00 メンバー活動報告会&子ども代表委員プレゼン

16:30~17:30 交流会

### ■会場：烏山市民センター 第四会議室

住所 東京都南烏山6-2-19

アクセス 京王線 千歳烏山駅東口徒歩1分

電話 03-3326-3511 または、FTCJ携帯 080-3071-6982

## 2015年度 (特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン通常総会 プログラム

1. 議長及び議事録署名人(2名)の選出、総会定足数の確認
2. 議案の協議決定
  - (1) 第1号議案  
2014年度 事業報告書(案)と2014年度活動計算書(案)に関する事項  
→2014年度の活動と会計について報告し、内容の確認を行い協議します。
  - (2) 第2号議案  
2015年度事業計画(案)と2015年度活動予算書(案)に関する事項  
→2015年度の活動と予算について内容の説明を行い協議します。
  - (3) 第3号議案  
2015年度の役員(理事及び監事) 選任に関する事項
    - (a) 理事及び監事について選任の件で内容の説明を行い協議します。
    - (b) 事務局体制と顧問のご紹介
  - (4) その他  
総会の当日に追加事項があれば、内容の説明を行い協議します。
3. 閉会のあいさつ

## NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

### 2014 年度事業報告

2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日まで

#### 1. 2014 年度 事業を実施して

##### ▼はじめに

2014 年度は、国連子どもの権利条約が採択されて 25 周年、日本で条約が批准されて 20 周年であり、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが日本で設立されて 15 周年の節目の年ということで、子どもの権利の中身と使い方を権利行使の主体者である子ども自身に全国規模で伝え、より多くの日本の子どもが子どもの権利を実感し子どもの権利が守られる環境作りに注力することを事業計画の大きな目玉に据えて活動に取り組みました。その結果、日本の子どもや若者を対象に、子どもの権利や世界の子どもを巡る状況を伝える講演会やワークショップ、合宿型イベント（キャンプ）を通じて述べ 9,965 人に対して実施することができました。これほどまでの多くの子どもたちに直接アプローチできたのは、設立以来初めての事であり、事業に際し多くの方々のご協力頂いたお陰です。皆様に心よりお礼申し上げます。

2014 年度の重点課題の一つに挙げていた海外自立支援事業における質的支援拡充と災害地域の復興に向けた事業への取組みについては、2013 年 11 月に起きた超大型台風によって甚大な被害を受けたフィリピンのビサヤ諸島やミンダナオ島の貧困地域において、4 つの学校再建事業に取り組み、5 つのコミュニティに対して村人の生計維持活動を実施し、2014 年度を通して 5,449 人を対象に緊急復興支援を行いました。また、2012 年、2013 年を通じてメンバーらが中心になって資金調達を行ったインド学校建設事業を 2014 年から支援地域でスタートすることができ、現在学校建設が行われています。

メンバーや協力者の方々など団体関係者の皆様に応じた、しっかりとした情報発信を行っていくために、新しいソフトでの個人情報管理システムの構築が 2014 年度の課題の一つでしたが、こちらは時間的にも人的にも資金的にも確保ができず、計画通りに業務を進めることができませんでした。これらの業務については 2015 年度に引継ぎ、実施に向けて優先的に取り組んでいく所存です。

##### ▼2014 年度 活動のハイライト

###### 1. 15 周年特別事業の実施

2014 年で設立 15 周年を迎えたことを機に元少年兵ミシエルの招聘、FTC 創設者クレイグ招聘、Youth in Action Award などの特別事業を実施いたしました。元少年兵ミシエル来日の際には、18 校の学校や団体で講演を行うことができました。また、クレイグ来日イベント際には約 200 名以上の方にご来場いただき、団体設立以降活動していたメンバーやご支援いただいているサポーターの方々と交流の場を作ることができました。

###### 2. キッズパワーサポーターの広報の充実と獲得

これまで注力できずにいた継続的なご寄付をお願いしているキッズパワーサポーターの獲得及び広報を、今年度は担当者をつけることで、15 周年記念と連動して広報を効果的に実施することができ、キッズパワーサポーターの増加につながりました。

###### 3. 個人情報の管理システムの構築と運用

その一方で、取り組めなかったり、次年度へ繰越となったりした事項もありました。具体的には、

- ・ 15 周年記念教材の開発
- ・ 個人情報の管理システムの構築と運用

上記 2014 年度中に実施できなかった事項については、2015 年度に取り組む課題として引き継ぎ、ビジョンの実現に向けた良質な活動と組織運営を進めていく所存ですので、どうぞご支援ご協力をよろしくお願い致します。

代表理事 中島早苗

## 1) 子ども主体事業

担当：子ども代表委員 2014

##### ◆子ども代表委員 2014

- 西野 彩妃 (大学一年生)
- 賀来 ゆり恵 (高校3年生)
- 佐光 真由子 (高校3年生)
- 林 優香 (大学2年生) サポート役

##### ◆事業の目的と役割 と 活動内容

###### \*目的・役割:

全ての子どもメンバーが安心して楽しく活動できる環境づくり。イベントを企画・運営するというより、地方と活動チームや、新しいメンバーと活動チームの仲介の活動をすること。

###### \*活動内容

活動ヒント講座にて、新しいメンバーへのアドバイス、サポート

内容：活動ヒント講座にきてくれたメンバーに同じ子どもメンバーとしてアドバイス。そのメンバーにおすすめのチームやアクションの起こし方などを説明。

## 2) 子ども活動応援事業

### ◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

1. 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
2. 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。
3. 東日本大震災支援一特別子ども支援

活動	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
子ども活動家育成	FTC カナダが行う Take Action Camp (夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップトレーニング・プログラム) に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。	7/31~8/11	Toronto 郊外、Me To We Leadership Centre	2人	12人
	Take Action Camp Japan の企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ3泊4日で行われる合宿型ワークショップを実施。	3/25~28	手賀の丘少年自然の家	3人	40人 (スタッフ14人)
メンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。  活動ヒント講座を毎月1回開催。 「ようこそ先輩」と題して元メンバーを講師として招き、学生時代の活動について話していただく場を設けた。	通年	主に事務所	2人	全国の子どもメンバー 1,100人
	学校や地域のグループ活動のサポートの実施 2014年度は新規で7つのグループが設立された。 また、各地の学校・グループの活動によって84万円の寄附が集まった。	通年	主に事務所	2人	全国の子どもメンバー 1,100人
	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営の仕方、企画書の書き方や、電話のかけ方、プレスリリースやチラシの作成など広報について日々サポートを実施。 【活動チーム】アクションキッズ(演劇を通じて活動をするチーム) 子ども記者、チョコプロ、アートキッズ、アンバサダーチーム、English チーム、募金チーム、mini WEDAY チームなど	通年	主に事務所	2人	チームに所属するメンバー
東日本大震災子ども支援	東日本大震災を受け、FTC カナダが行うテイク・アクション・キャンプへ被災地域に暮らす子ども1名、日本で実施したテイク・アクション・キャンプ・ジャパンへ2名を招待しました。  また、20014年子どもの権利条約25周年記念して開催された国連・子どもの権利委員会とのオンライン対話の場で、日本の子どもが抱える貧困問題や学校のありかたについての課題、また原発についての思いを伝える場を提供しました。  2015年3月15日に開催された国連防災会議パブリックフォーラムでイベントを開催し、当日集まった100名以上の参加者に対して、東日本大震災で被害を受けた子ども達の生の声を届けました。	2014年8月、2015年3月	Toronto 郊外、Me To We Leadership Centre	3人	福島県相馬市、宮城県仙台市5人

### 【活動ご協力のご紹介】

- ◆寄付協力：株式会社チャンピオン美容室（東日本大震災支援）
- ◆助成協力：世田谷区 国際平和交流基金（活動ヒント講座）
- ◆活動協力：株式会社プランタン銀座（チョコレートプロジェクト）

### 3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働し FTCJ のビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2014 年度参加・構築したネットワーク>

- ・ **JNNE (教育協力 NGO ネットワーク)** : 開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーンにも 2014 年度も運営委員として参加しました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界の EFA (万人のための教育) 運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。
- ・ **児童労働ネットワーク (CL ネット)** : 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ **日比 NGO ネットワーク (JPN)** : フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。
- ・ **「子どもの権利条約フォーラム」** 子どもの権利条約の普及・啓発を目指し、子どもの権利に関わる国内外で活動する NPO と連携して活動を実施しています。
- ・ **「動く→動かす」** への賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施しています。
- ・ **その他非営利組織への会員登録や他団体との協力**  
より良い事業運営のため JANIC (国際協力 NGO センター)、DEAR (開発教育協会) などの活動への参加しました。

<ネットワーク構築事業による活動一覧>

ネットワーク名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
JNNE/ 世界中の子どもに教育をキャンペーン	4月21日(月)から5月18日(日)にかけて途上国の教育の現状や教育援助の不足について学ぶ授業が実施され、47都道府県の716校・グループ、69151人が参加しました。	4月～6月	中学校、事務所	2人	59,116人
	5月15日、衆議院第二議員会館で、5年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催した。当団体のメンバーの高校生10名が「先生」、国会議員21名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからはNGOの提言などを伝えた。		国会議員、外務大臣などへの政策提言	2人	21人
	6月10日はGCEのギラード理事長が来日し、当団体の高校生と面会。ギラード理事長はその後、日本政府に教育支援の協力要請をしました。				
CL ネット	6月1日～7月13日にかけて「ストップ! 児童労働キャンペーン 2014」を開催。9年目となる2014年は、6月12日の「児童労働反対世界デー」に、FIFAサッカーワールドカップが開幕されました。これを受け、児童労働ネットワーク(CL-Net)は、国際労働機関(ILO)の「児童労働にレッドカード・キャンペーン」に賛同し、カードを掲げて写真を撮る「レッドカードアクション」を呼びかけました。情報発信はFacebookやTwitter等のSNSを中心に行いましたが、Facebookは期間中のべ約14万人にリーチし、Twitterは学生を中心にリツイートで情報が広まりました。	6月	全国	5人	14万人
	上記のキャンペーン賛同イベントとしてFTCJ主催で、6月7日に「テイクアクションパレード2014」、6月15日に「めっちゃ学校行きたいねん! 御堂筋ウォーク2014」を実施した。	6月7日 6月15日	東京 大阪	2人	50人
日比 NGO ネットワーク	フィリピンのより良い開発支援のための情報交換や、ネットワーク間での話し合い、及び外務省との連携。前年度に引き続きフィリピンのGGP(草の根・人間の安全保障無償資金協力。在外日本大使館が担当する途上国援助をするためのODAの一つのスキーム)の質的向上のため、外務省に対して提言及び意見交換会で発表を行った。また、超大型台風復興支援のための、チャリティーランを実施した。	通年	事務所、東京、大阪	1人	フィリピン台風被災者2000人への直接支援
子どもの権利条約フォーラム	2014年11月14日子どもの権利条約フォーラムを開催した。FTCJは幹事団体として参加。元少年兵ミシェルの講演会を担当した。	通年	事務所、東京	1人	200人
動く→動かす	国連ミレニアム・サミットで、世界の貧困問題を解決するために、15年までに達成するべき目標として「ミレニアム開発目標」(Millennium Development Goals: MDGs)が掲げられたことを受け、このMDGsを達成し、世界の貧困問題解決に向けた取り組みを日本から作り出すことを最大の目標として活動するネットワーク。2014年もSTAND UP TAKE ACTIONが行われ、1442件3万2386人が参加した。	10月	事務所、東京	1人	3万2386人

## 4) アドボカシー事業

### ◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

**目的:** 国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。主に関東と関西で事業を展開しています。

**内容:** ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販（フェアトレードチーム）、イベント実施、スピーカー派遣など

事業名	日時 回数	講演先 学校・団体・企業名	内 容	実 施 場 所	従事者 人数	受益対象者 の人数
イベント出展・ スピーカー派遣 (学校への 出張講演会)	5月10日	葛飾区立本田中学校	身近に起きている問題、私たちに できること	東京都	2人	400人
	5月10日	平楽中学校	世界の現状、活動紹介	神奈川 県	1人	100人
	5月16日	上智大学	子どもの権利条約	東京都	1人	180人
	5月28日	立教大学	活動紹介	東京都	4人	260人
	6月16日	拓殖大学	活動紹介、スワパン氏講演（イン ドの現状について）	東京都	3人	50人
	6月17日	文京学院大学	活動紹介、スワパン氏講演（イン ドの現状について）	東京都	2人	87人
	6月18日	埼玉県熊谷市立 玉井中学校	インドの子どもたちの現状につ いて	埼玉県	2人	150人
	6月21日	立命館守山高等学校	活動内容の紹介など	滋賀県	1人	290人
	6月26日	大阪府立能勢高等学校	世界の貧困や現状について 私たちにできること	大阪府	1人	50人
	7月1日	板橋区立桜川中学校	児童労働の現状と団体紹介、私た ちにできること	東京都	3人	40人
	7月5日	町田市立真光寺中学校	活動紹介、私たちにできること	東京都	4人	30人
	7月10日	神戸女学院大学	活動紹介、子どもの権利について	兵庫県	2人	120人
	7月12日	立命館守山高等学校	世界の現状、ワークショップ	滋賀県	1人	300人
	7月18日	東洋英和女学院	私たちにできること	東京都	1人	10人
	7月23日	尚綱学院大学	世界の現状、私たちにできること	宮城県	4人	200人
	7月12日	横浜市立 横浜商業高等学校	世界の現状、大人社会の中におけ る子どもとは	神奈川 県	1人	100人
	8月2日、3 日	せんだい地球フェスタ	ワークショップ、私たちにでき ること	宮城県	1人	120人
	8月25日	バルシステム東京 あおと委員会	世界の現状と私たちにできるこ と	東京都	3人	30人
	9月16日	大阪暁光高校	児童労働について	大阪府	1人	40人
	9月26日	調布市立若葉小学校	児童労働・私たちにできること	東京都	1人	40人
10月4日	グローバルフェスタ	活動紹介	東京都	1人	20人	

イベント出展 ・ スピーカー 派遣 (学校への 出張講演含)	10月17日	神奈川県立 神奈川総合高校	児童労働と貧困について	神奈川県	3人	20人
	10月20日	東京学芸大学附属 国際中等教育学校	世界の現状、私たちにできること	東京都	2人	110人
	10月22日	創価大学	世界の現状、私たちにできること	東京都	2人	100人
	10月25日	桜丘中学校	より良い世界を作るために私たちに出来ること	東京都	2人	100人
	10月30日	横浜雙葉高校	NGO活動を通じて考えること、見えてきたこと	神奈川県	1人	180人
	11月12日	尚綱学院大学	活動紹介、少年兵について	宮城県	2人	100人
	11月13日	和光中学校	少年兵について、活動紹介	東京都	2人	500人
	11月14日	Canadian International School	少年兵について	東京都	2人	123
		玉川学園	少年兵について、活動紹介	東京都	4人	100人
	11月15日	RYOZAN PARK CORE	子ども兵士問題から世界を考える	東京都	3人	40人
	11月14日	上智大学院	児童労働から考える少年兵	東京都	3人	50人
		Vital Japan	紛争と少年兵について	東京都	2人	200人
	11月16日	子どもの権利条約フォーラム	少年兵、私たちにできること、活動紹介	東京都	3人	150人
	11月17日	千葉国際中等学校・高等学校	世界に視野を広げ、人権や国際理解の考えを深める	千葉県	3人	300人
	11月17日	茗溪学園高等学校	児童労働について、活動紹介	茨城県	3人	270人
	11月18日	K International School Tokyo	子どもの権利と世界の現状について	東京都	4人	300人
		ぐんま国際アカデミー	子どもの権利、児童労働について	群馬県	4人	344人
		NPO 法人東京シュレー	少年兵について	東京都	2人	40人
	1月19日	大阪暁光高等学校	活動紹介、少年兵について	大阪府	2人	40人
	11月20日	上智大学グローバルコンサーン研究室	ワークショップ	東京都	1人	30人
	11月20日	同志社中学校	平和教育	京都府	3人	350人
	11月21日	京都市立堀川高等学校	活動紹介、子ども兵士、児童労働、子どもの権利について	京都府	2人	270人
		立命館守山中学校・高等学校	少年兵の問題	滋賀県	2人	300人
	11月22日	立命館宇治中学校・高等学校	国際平和を考える	京都府	2人	400人
	11月23日	JICA なごや地球ひろば	少年兵について	愛知県	3人	80人
	11月24日	新潟国際ボランティアセンター	世界を知る～子ども兵士ミシェル氏の声を聴く～	新潟県	2人	150人
	11月26日	大阪府立能勢高等学校	活動紹介、子どもの権利について、フィリピンの現状、子ども兵士について	大阪府	1人	40人
	11月27日	東京都立国際高等学校	少年兵、フェアトレード	東京都	1人	250人
	12月2日	浦安市立東野小学校	世界の現状、私たちにできること	千葉県	3人	120人
	12月10日	能勢町立東中学校	世界の貧困と児童労働について私たちにできること	大阪府	1人	20人
	12月10日	豊中市立第九中学校	世界の現状・児童労働・教育	愛知県	1人	870人

	1月23日	世田谷区立桜丘中学校	世界の貧困・格差・戦争・不条理な世界	東京都	4	140人	
	1月26日	栃木県立益子芳星高等学校	国際協力、人の心を考える	栃木県	2	160人	
	1月29日	独立行政法人 国際協力機構 (JICA)	NGOの仕事内容について、NGOスタッフの実体験談	東京都	1	80人	
	1月30日	大阪市立関目東小学校	児童労働と、私たちにできること	大阪府	2	180人	
	2月3日	都立六本木高校	世界の問題に私たちにできること	東京都	3	130人	
	2月6日	神奈川県立有馬高校	世界の現状、私たちにできること	神奈川県	3	40人	
	2月14日	聖学院中学校高等学校	活動紹介 社会貢献について	東京都	2	70人	
	2月17日	日本歯歯薬専門学校	国際協力、私たちにできること	東京都	4	70人	
	2月21日	仁淀川町立別府小学校	学校に行けない子どもたちや児童労働の現状	高知県	2	60人	
	2月23日	桃山学院中学校高等学校	世界の現状、私たちにできること	大阪府	1	20人	
	2月26日	板橋区立徳丸小学校	世界の現状、児童労働、私たちにできること	東京都	6	101人	
	3月14日	日本国際保健医療学会学生部会 春の国際保健集中セミナー	少年兵について	東京都	1	150人	
	3月15日	第3回国連防災世界会議	活動紹介	宮城県	4	30人	
	事務所訪問対応	24回	FTCJ オフィス	世界の児童労働や貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介について説明、スピーチなど実施	東京	4人	60人
	FTCJ 説明会 & 活動ヒント講座	12回	FTCJ オフィス	月一回定期的に、東京オフィスにて児童労働や貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介などを紹介し、活動のヒントやコツなどの講座を実施。	東京	6人	50人
15周年記念事業	12月19日	JICA地球ひろば	設立15周年を記念して、創設者クレイグを招聘し、講演会と記念パーティを実施した。またユースインアクションアワードを設け、表彰式を講演会の際に実施した。	東京	3人	200人	

事業名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
ニュースレター・アニュアルレポート発行	2014年度アニュアルレポート NL 34号 特集：15周年特別記念号 NL 35号 特集：15周年特別記念号	6月 10月 2月	東京事務所	5人	各号500部印刷
ホームページ更新・作成	web サイトリニューアル：1日平均735人程度アクセスあり。一人当たり4ページビューあり。ニュース・レポート：1日平均380人程度アクセスあり	通年	事務所	1人	国内外の人々
資料開発・出版	活動ガイドブック、団体パンフレット、フェアトレード案内資料をリニューアルした。また、大月書店より「チャレンジ!キッズスピーチ」書籍3巻セットのための執筆を行い出版された。	通年	各イベント等	3人	各資料500部
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	事務所	3人	子ども、一般

**【活動ご協力のご紹介】**

- ◆助成協力：公益信託オラクル有志の会ボランティア基金（ニュースレター、活動ガイドブック）
- 協賛協力：株式会社リップル・キッズパーク、株式会社ウエストコースト、株式会社ワイズ・インフィニティ、新名交電機株式会社、株式会社若菜企画、カネマツ自動車株式会社、株式会社チャンピオン美容室（15周年記念事業）
- 協働協力：大月書店（キッズスピーチ出版事業）

## 5) 海外自立支援事業 ・ 緊急支援事業

### ◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

**目的：** 貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども（支援地域のフィリピン、インド、モンゴルなど）の権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援する。

**内容：** フィリピン、インド、モンゴルなどの開発途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。

＜フィリピン支援事業＞ FTCJでは、下記5つの支援事業をフィリピンにて実施しました。

事業名	事業内容	実施日	受益対象者の範囲及び人数
先住民族の子どもへの教育支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金とご寄付、助成金を使い、フィリピン・ミンダナオ島の台風被害にあった先住民族コミュニティに暮す中等教育を受ける年齢の子どもたちを対象にした通学の奨学金サポートや台風被害で心に傷をうけた子どもたちの心のケアや病気予防、災害時の対処法などの知識を学ぶことができるワークショップの実施及び教育支援物資の支給を実施。	通年	ミンダナオ島 ディバワオン 族子ども 300人
緊急復興支援	2013年11月にフィリピンを直撃した台風30号「ハイヤン（ヨランダ）」により、甚大な被害を受けた中部のパナイ島、レイテ島、セブ島、サマル島において、緊急復興支援を実施し、現地NGOや自治体、公立学校などと連携し被災した子どもやその家族を対象に、子どもの心のケアのためのワークショップや、学校再建修繕事業、生計維持支援事業、子どもへの奨学金支援事業を実施。	通年	被災者 5,449人
性虐待や刑務所から救出された子ども支援	指定寄付やフェアトレード商品の購入資金によって、フィリピン・ルソン島オロンガポに位置する現地パートナー団体ブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、自立支援の実施。	通年	子ども約 200人
スタディーツアー	2015年3月25日～31日にかけてフィリピンパナイ島及びマニラ首都圏を訪問するツアーを通じて訪問先でのボランティアや交流事業を実施。	2015年3月25～31	日本参加者5人 現地150人

### 【活動ご協力のご紹介】 ◆活動費助成協力：かけはし支援基金（先住民族の子どもへの教育支援事業）

#### ＜インド支援事業＞

FTCJでは、下記2つの地域にて貧困地域の子どもの支援事業を行いました。

#### 1. 西ベンガル州の貧困下におかれた子どもの救出・自立支援活動

◆**事業目的：** 貧困が原因で権利を奪われ、児童労働などの過酷な環境に置かれているインド西ベンガルの子どものが、FTCJの支援を通して貧困状態から助け出し、安心で健康的な子ども時代を送り、自立して生活できるための教育を受けられるよう支援します。

◆**パートナー団体：** Center for Communication and Development (以下 CCD)

#### ＜設立経緯・背景＞

1978年に起こった洪水がきっかけとなり被害を受けた人々を支援するため代表のスワパン・マッカージ氏が中心となって設立されたNGO。市街地から離れた所に医療診療所(Medical clinic)を作ることから着手し、学校のない村で学校建設や収入向上プロジェクト(Economic welfare activities)を開始。その後、危険な環境で働く子どもを救出し家族のもとへ返したり保護施設に預けたりする活動を始めた。現在は、CCD自体が貧困のため家族と共に生活できない子どもや過酷な環境で働く子どもを救出し、子どもたちが安心して生活できるような環境を提供するため養護施設「マクタニール子どもの家」を運営している。そして、FTCJは、この施設で暮らす少年たちの教育費や食費などをサポートしている。

事業名	事業内容	実施日	受益対象者の範囲及び人数
CCD マクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金とクラウドファンディング ReadyFor を通じて集まった寄付やその他指定寄付を使って、施設で生活する子どもと CCD が支援する貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援を実施。具体的には学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費の提供や、健康医療支援プログラムのために支援金を活用した。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育てている。	通年	マクタニール養護施設で生活する22人の及び貧困家庭30人の子ども

#### 2. ラジャスタン州の貧困農村地域の子どもの支援活動

◆**事業目的：** インドのラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方貧困農村地域で生活する子どもたちが、FTCの支援を通して子どもの権利が守られ安全で健康な子ども時代を送り、自立に向け教育を受けられるよう支援します。

◆**事業実施体制：** FTC ネットワークにより実施 (FTC インドとの連携協力)

#### ◆支援地域について

**支援事業地：** ラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方バリンド村及びベルダラ村

**支援地背景：** 支援地域の村では様々な少数民族がおり、人々は長い間社会から隔離され、取り残されてきた。村は深い森と高い丘に囲まれており、土地は平らではなく、電気やガス、水道などのライフラインは各家庭にひかれていない。半乾燥地帯のため土地を耕作する事が困難なため、村人の多くはやせた土地に住んで細々と農業を営んでいる。農業だけでは収入があまり得られないので出稼ぎ労働に従事している家族も多く見受けられる。

**支援地課題：**統計によると、支援地域では栄養失調と不衛生な環境によって2割弱の幼児が5歳までに命を落としており、健康・保健面で問題があることが分かった。また、地域特有の問題として、土地の大部分を政府が所有しており、25%だけが人々が耕作する為に残された土地だが岩と石が多く半乾燥地帯のため農業には厳しい条件となっており、慢性的な水不足及び食糧不足により、住民は悩まされている。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
バリンド村自立支援－保健衛生教育支援	2013年度からの継続支援事業。子どもの保健衛生向上のために、学校施設敷地内に、トイレと手洗い場を建設設置し、また保健衛生の知識を高め、健康向上の活動を行った。具体的には学校敷地内に、スクールガーデンを設置し、葉草や野菜類などの苗木を植え、学校に通う生徒とその家族がそれらの植物を育て健康のために使えるようなセミナーを行った。	通年	バリンド村の子ども100人
ベルダラ村自立支援－教育支援（学校建設事業）	ベルダラ村に小学校の教室の建設事業を実施。現在、建設中。完成すれば、小学校学齢期の子ども120人が学校に通えるようになる予定。	通年	ベルダラ村の子ども120人

【活動ご協力のご紹介】◆寄付協力：FTGJ インド学校建設事業チーム、チョコプロ 2013年チーム、その他多数ご寄付（ベルダラ村教育支援事業）

<モンゴル支援事業>

1) 図書室設置事業：バヤンズルフ地区の第92号学校に図書室を設置しました。

◆事業目的：支援事業地周辺に住む子どもが図書館に来ることで、様々な本が通じて想像力を養い、識字能力を高めることができるようになる。ひいては、自身の夢や希望を持ち実現のために歩むことができるようにする。

◆支援事業地：首都ウランバートル(UB)市バヤンズルフ地区第92号学校

◆協力体制：モンゴルカルチャーパーク アルタン・ウルジー氏 / 学校との連携

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
図書館設置事業	2008年より5年間、モンゴルの伝統家屋のゲル図書館を運営し、たくさん子どもたちが本を読んだり、友達と遊んだり、勉強をしたりして来てくれていましたが、完成より5年が経ち、ゲルの寿命が来たためこの図書館は2012年夏をもって閉鎖されましたが、今後も子どもたちが本を読む機会を提供し続けるために、2014年3月には開設式を行い、2014年度は運営マニュアルを作成し運営のサポートを行いました。	通年	支援地に住む3,000人の子ども

6) その他

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	—	30人
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・データベース salesforce 研修受講 ・NPO 会計講座	8～3月	東京	4人
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	4人
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など（子どもメンバー183人、ユースメンバー86人、ボランティアメンバー登録78人）	通年	東京	3人
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2人
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11人
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5人

【メディア掲載一覧】 2014 年度にメディアで配信された FTCJ の活動です。

時 期	メディア配信・媒体名	内 容
通年	高校家庭科教科書 2014 生活学 Navi	FTCJ の活動が紹介されました。
通年	中学公民教科書ビジュアル公民 2014	子ども兵士や教育を受けられない子どもについての情報提供。
通年	高校英語教科書 UNICORN	クレイグ少年の物語がレズントピックとして掲載されています。
通年	高校英語教科書 English Now!	クレイグ少年の物語がレズントピックとして掲載されています。
通年	『ビジュアル公民 2014』	児童労働をしている子どもたちの写真と文章を提供しました。
2014/4/1	国際開発ジャーナル 4 月号	事務局の原元のインタビューが掲載されました。
2014/9/15	re-quesr/QJ 10 月号	ナタリーレポートマンの寄付付きルージュが取り上げられました。
2014/10/11	読売新聞	マララさん、カイラジュさんのノーベル賞受賞についての代表理事のコメントが掲載されました。
2014/11/13	河北新報	元少年兵ミシエルの講演が取り上げられました。
2014/11/17	中日新聞	元少年兵ミシエルの講演が取り上げられました。
2014/11/21	読売新聞	元少年兵ミシエルについて取り上げられました。
2014/12/17	読売新聞	パキスタンでおきた襲撃事件について代表理事中島のコメントが掲載されました。
2014/12/26	読売中高生新聞	チョコプロの活動が取り上げられました。
2015/1/10	NTT 労組 (新聞)	クレイグと石橋みちひろ参議院議員の対談が掲載されました。
2015/1/15	YOMIURI ONLINE	チョコプロの活動が取り上げられました。
2015/1/22	流通ニュース	チョコプロのブランタン銀座でのお披露目の様子が取り上げられました。
2015/1/23	みんなの経済新聞ネットワーク	チョコプロのブランタン銀座でのお披露目の様子が取り上げられました。
2015/1/25	読売新聞	チョコプロのブランタン銀座での販売の様子が取り上げられました。
2015/1/29	サンケイスポーツ	ワンワールドフェスティバル、チョコプロについて取り上げられました。
2015/1/26	流通ニュース	チョコプロのブランタン銀座でのお披露目の様子が取り上げられました。
2015/1/27	流通ニュース	チョコプロのブランタン銀座でのお披露目の様子が取り上げられました。
2015/1/30	読売中高生新聞	チョコプロのブランタン銀座での販売の様子が取り上げられました。
2015/1/30	読売新聞	チョコプロのブランタン銀座での販売の様子が取り上げられました。
2015/3/19	東京新聞	mini WEDAY のイベント情報が掲載されました。
2015/3/19	読売新聞	mini WEDAY のイベント情報が掲載されました。
2015/3/21	バンクーバー経済新聞	We Day のことが取り上げられました。

【活動ご協力のご紹介】 (敬省略、順不同)

◆協力：コーズアクション (コンサルタント)

【インターンご紹介】

2014 年度は下記のインターンのみなさんが活動を支援担当の事業を担いました。(敬称略・順不同)

濱名沙耶佳：アドボカシー事業 (資金調達、広報)、齋藤浩一：アドボカシー事業 (広報、出張講演)、清水広美：子ども主体事業、子ども活動応援事業、森川清美：アドボカシー事業 (広報)、依田サラ舞香：外部ネットワーク (JNNE)、アドボカシー事業 (広報)、江里口泰子：子ども活動応援事業、アドボカシー事業 (広報)、谷口佳世：子ども活動応援事業、中島将幹：アドボカシー事業 (広報)、忽滑谷桃：子ども活動応援事業 (テイクアクションキャンプ、ファシリテーター養成講座)、徐欣：アドボカシー事業 (広報)

## 7) 会議の開催に関して

### (1) 総会

#### 通常総会

##### (ア) 開催日時及び場所

2014年6月14日(土) 総会：13:30~14:30 烏山区民センター

##### (イ) 議題

###### 第1号議案

2013年度 事業報告書(案)と2013年度会計収支決算書(案)に関する事項

###### 第2号議案

2014年度事業計画(案)と2014年度収支予算書(案)に関する事項

###### 第3号議案

2014年度の役員(子ども代表委員と理事、監事) 選任に関する事項

- (a) 子ども代表委員について内容の説明を行い協議
- (b) 理事会役員につき、内容の説明を行い協議
- (c) 事務局体制と顧問のご紹介

### (2) 理事会

#### 第1回理事会

##### (ア) 開催日時及び場所

2014年6月2日 19:00~22:00 当法人事務所会議室

##### (イ) 議題

- ①通常総会提出議案について
- ②事務局の組織について

#### 第2回理事会

##### (ア) 開催日時及び場所

2014年11月17日 19:00~22:00 当法人事務所会議室

##### (イ) 議題

- ①2014年度上半期事業の報告及び下半期の事業予定について
- ②2014年度事業計画及び予算の変更(案)について

#### 第3回理事会

##### (ア) 開催日時及び場所

2015年4月22日 19:00~22:00 当法人事務所会議室

##### (イ) 議題

- ①2015年度事業計画(案)及び予算(案)について